

# インドネシア淡水養殖振興計画 実施協議調査団報告書

平成 12 年 6 月

国際協力事業団

## 序 文

国際協力事業団はインドネシア共和国（以下、インドネシアと略す）政府の要請を受けて、平成 11 年 8 月に淡水養殖振興計画に関する事前調査を実施し、更に平成 11 年 11 月には短期調査員を派遣しました。それらの調査報告を踏まえ、平成 12 年 3 月 20 日から 4 月 4 日まで実施協議調査団を現地に派遣しました。

同調査団は、本プロジェクトの開始に必要な現地調査及びインドネシア政府関係者との協議を行いました。

本報告書は、同調査団による調査結果を取りまとめたものであり、今後本プロジェクトの実施の検討にあたり、広く活用されることを願うものです。

終わりに、この調査にご協力とご支援を頂いた内外の関係各位に対し、心から感謝の意を表します。

平成 12 年 6 月

国際協力事業団  
理事 後藤 洋



写真1 ジャンビ淡水養殖開発地域センター全体  
(平成12年3月現在)



写真2 ジャンビ市内中心部  
(Novotel Hotelより撮影)



写真3 ジャンビ市内の魚市場  
淡水魚は鮮魚、または水  
の中で活魚として販売さ  
れている



写真4 ジャンビ州知事のジャン  
ビ淡水養殖開発地域セン  
ター視察  
中央の黄色シャツ着用し  
ているのが、ジャンビ州  
知事  
ビーカー内のオニテナガ  
エビの幼生を観察してい  
る